



いきいき健康講座要旨 去る平成14年10月9日に行われた第13回健康講座の内容をまとめました。

小児の予防接種

呉 繁夫 先生

東北大学大学院医学系研究科小児医学講座遺伝病学分野助教授

「チクッ」についての3つの禁句

子供が予防接種を受ける時に、絶対言ってはいけない禁句がある。

1. 「チクッ」は全然痛くないからね！
針を刺せば痛いのは当たり前だからウソは禁物。
2. 言う事をきかないと先生に「チクッ」されるよ！
予防接種は罰ではない。
3. 「チクッ」ぐらいで泣かないの！（注射が終わった後）
頑張って注射を受けたという事をほめるべき。



各種予防接種の注意点

はしか(麻疹)

95%以上の人に免疫ができる

- ・接種当日の入浴可
- ・注射の部位が少し赤くなったり熱をもつことがあるが、2-3日で消える
- ・接種後1週間で38度前後の熱(38.5℃以上になるのは数%)や発疹(10-20%)が出ることがある
- ・熱性痙攣を起こしたことがある人は、注射の前に小児科医にそのことを伝えることが必要
- ・接種当日に添加物によりじんましんが出ることがある
- ・接種しなければ年間約200人が死亡。接種すれば年間0.5-1人に脳炎、脳症などの重い副作用が現われる

風疹(三日はしか)

はしかが重い病気なのに対して風疹は全く軽い病気でワクチンを接種する意味は殆どないが、妊娠中の胎児に感染すると先天性風疹症候群(眼、耳、心臓の障害)を起こす可能性があるために行う

ポリオ

- ・唯一の飲むワクチン(半年あけて2回)
- ・30分以内に吐き出した場合はもう1回
- ・ひどい下痢をしている場合は受けられない
- ・50万人に1人、接種後約2週間で弛緩性麻痺が生じることがある

3種混合ワクチン(百日咳、ジフテリア、破傷風)

- ・生後3ヶ月から2-8週間の間隔で3回接種し、6ヶ月後に追加、12歳でもう1回追加(ジフテリア、破傷風のみ)
- ・当日の入浴可
- ・接種した日に発熱する事があるが、1-2日で下がる
- ・20-50%の人が接種後2-7日に注射の部位が腫れたり赤くなったりするが、2-4日くらいで治る
- ・注射したところがしこりになる事があるが、1-2ヶ月で治る

日本脳炎

- ・3歳で1-4週間離して2回接種し、1年後に1回追加。9歳と14歳で更に1回ずつ追加する
- ・当日の入浴可
- ・注射部位が腫れる事があるが、2-3日で治る
- ・1-2日目に発熱する事があるが、2-3日で下がる

おたふく風邪(ムンプス)

- ・接種当日の入浴OK
- ・接種しても罹ることがあるが、軽く済む
- ・発熱や注射部位の腫れはない
- ・2-3%の人は接種後2-3週間で耳の下が腫れるが、1-2日で消える

みずほうそう(水痘)

- ・当日の入浴可
- ・接種しても罹る事があるが、軽く済む(数%)
- ・熱や注射部位の腫れなどはみられない
- ・みずほうそうに罹っている子供と接触後、72時間以内ならワクチンを受けることによって感染を防げる

BCG(結核の予防注射)

- ・ツベルクリン反応を行い、陰性の人に接種(生後3ヶ月、6歳、12歳)
- ・当日の入浴可
- ・接種後2-3週で針の跡が膨らみ始め、1ヶ月くらいで膿をもつ。その後かさぶたが出来て治る。
- ・わきの下のリンパ節が腫れることがある

インフルエンザワクチン

- ・2回接種が原則。前年と同じウイルスなら前年のワクチンの効果が残っていて1回で十分。
- ・鶏卵を用いてウイルスを増やしているため、卵アレルギーの人は要注意
- ・今までインフルエンザに罹った事がない子供やワクチンを受けたことのない子供は2回の接種が必要
- ・抗原変異を起こすため、ワクチンの有効性が年々変化し、感染の阻止率は70-80%

